

III 特殊分類別（財別） 鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

（表 5、表 6）

1. 最終需要財

3年の県内最終需要財の生産は、投資財、消費財ともに減少したため対前年比△3.1%と減少し、指数は103.4となった。また、在庫は投資財、消費財がともに増加したため、対前年比2.0%と3年連続増加し指数は124.2となった。

1-1 投資財

3年の県内投資財の生産は、資本財、建設財がともに減少したため、対前年比△4.6%と減少し、指数は111.8となった。また、在庫は資本財は減少したが、建設財が増加したため、対前年比0.9%と3年連続増加し、指数は122.5となった。

1-1-1 資本財

3年の県内資本財の生産指数は118.1で、対前年比△4.5%と減少した。これは、パーソナルコンピュータ、化学機械等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期122.5（対前期比0.2%増）と増加し、4～6月期119.5（同2.4%減）、7～9月期118.1（同1.2%減）、10～12月期は112.7（同4.6%減）と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は118.8で、対前年比△10.9%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期125.8（対前期比7.7%減）、4～6月期117.2（同6.8%減）、7～9月期111.8（同4.6%減）と3期連続減少し、10～12月期118.5（同6.0%増）と増加した。

1-1-2 建設財

3年の県内建設財の生産指数は104.9で、対前年比△4.9%と減少した。これは、アルミニウムサッシ、アルミニウムドア等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期107.3（対前期比0.7%増）と増加し、4～6月期106.7（同0.6%減）、7～9月期105.4（同1.3%減）、10～12月期100.6（同4.5%減）と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は125.1で、対前年比10.6%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期122.4（対前期比2.4%減）と減少し、4～6月期122.9（同0.4%増）、7～9月期127.2（同3.5%増）、10～12月期128.5（同1.0%増）と3期連続して増加した。

1-2 消費財

3年の県内消費財の生産は、耐久消費財が増加し、非耐久消費財が減少したため、対前年比△0.8%と減少し、指数は93.7となった。また、在庫は非耐久消費財は減少したが、耐久消費財が増加したため、対前年比4.5%増と3年連続増加し、指数は128.4となった。

1-2-1 耐久消費財

3年の県内耐久消費財の生産指数は100.8で、対前年比3.4%と増加した。これは、木製机等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期94.9（対前期比3.8%減）、4～6月期100.1（同5.4%増）、7～9月期107.6（同7.5%増）、10～12月期は102.8（同4.4%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は205.8で、対前年比17.4%と3年連続増加した。これを四半期別にみると、1～3月期152.6（対前期比35.2%減）と減少し、4～6月期165.1（同8.2%増）、7～9月期224.3（同35.8%増）、10～12月期289.9（同29.3%増）と3期連続して増加した。

1-2-2 非耐久消費財

3年の県内非耐久消費財の生産指数は86.1で、対前年比△5.6%と減少した。これは、医薬品、水産練製品等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期89.5（対前期比1.4%減）、4～6月期83.6（同6.7%減）と2期連続減少し、7～9月期は83.8（同0.3%増）、10～12月期87.7（同4.7%増）と2期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は108.3で、対前年比△0.8%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期128.2（対前期比4.7%増）、4～6月期107.3（同16.3%減）、7～9月期99.2（同7.5%減）、10～12月期104.7（同5.5%増）と増減を繰り返した。

2. 生産財

3年の県内生産財の生産は、鉱工業用生産財、その他用生産財ともに増加したため、対前年比0.4%と5年連続して増加し、指数は116.2となった。また、在庫はその他用生産財は減少したが、鉱工業用生産財が増加したため、対前年比7.6%と3年連続増加し指数は113.8となった。

2-1 鉱工業用生産財

3年の県内鉱工業用生産財の生産指数は116.0で、対前年比0.2%と5年連続して増加した。これは、シリコン、ダンボールシート等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期116.2（対前期比2.6%減）、4～6月期119.9（同3.1%増）、7～9月期115.3（同3.8%減）、10～12月期113.0（同2.0%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は112.9で、対前年比8.7%と3年連続増加した。これを四半期別にみると、1～3月期105.7（対前期比4.2%増）、4～6月期116.0（同9.7%増）、7～9月期116.6（同0.5%増）と3期連続増加したが、10～12月期114.2（同2.1%減）と減少した。

2-2 その他用生産財

3年の県内その他用生産財の生産指数は118.4で、対前年比3.1%と3年連続増加した。これは、軽油、雑種紙等が増加したた

めである。四半期別に推移をみると、1～3月期116.9（対前期比7.2%減）、4～6月期106.6（同8.9%減）と2期連続減少し、7～9月期116.8（同9.5%増）、10～12月期133.6（同14.4%増）と2期連続して増加した。

一方、在庫指数の年平均は127.8で、対前年比△6.1%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期137.5（対前期比5.2%減）、4～6月期128.7（同6.4%減）、7～9月期118.5（同7.9%減）と3期連続減少し、10～12月期128.7（同8.6%増）と増加した。

表5 特殊分類別鉱工業生産指数増減率

	対前年増減率				3年四半期別・対前期増減率(%)			
	63年	元年	2年	3年	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
鉱工業	3.6	6.1	△0.2	△1.3	△1.9	1.3	△1.8	△1.8
最終需要財	3.6	7.5	△3.7	△3.1	△1.2	△0.5	0.5	△2.5
投資財	6.8	9.6	△6.3	△4.6	△0.3	△1.4	△1.0	△4.3
資本財	7.1	13.6	△3.8	△4.5	0.2	△2.4	△1.2	△4.6
建設財	6.3	5.3	△9.1	△4.9	0.7	△0.6	△1.3	△4.5
消費財	△0.7	4.5	0.3	△0.8	△2.9	0.6	2.3	0.8
耐久消費財	4.6	5.2	△3.6	3.4	△3.8	5.4	7.5	△4.4
非耐久消費財	△6.5	3.5	5.3	△5.6	△1.4	△6.7	0.3	4.7
生産財	3.5	4.7	3.3	0.4	△2.8	2.4	△3.2	△1.0
鉱工業用生産財	3.8	4.6	2.9	0.2	△2.6	3.1	△3.8	△2.0
その他用生産財	△0.1	6.0	7.6	3.1	△7.2	△8.9	9.5	14.4

表6 特殊分類別鉱工業生産者製品在庫指数増減率

	対前年増減率				3年四半期別・対前期増減率(%)			
	63年	元年	2年	3年	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
鉱工業	△4.7	11.7	7.4	5.6	△0.5	4.3	△0.3	1.4
最終需要財	△9.4	8.1	15.5	2.0	△6.1	△4.8	1.4	5.8
投資財	△5.4	10.8	11.5	0.9	△4.0	△3.6	0.2	3.0
資本財	△9.2	27.4	9.0	△10.9	△7.7	△6.8	△4.6	6.0
建設財	△2.7	△0.3	13.7	10.6	△2.4	0.4	3.5	1.0
消費財	△18.3	1.2	26.3	4.5	△5.7	△9.7	2.6	10.8
耐久消費財	△36.7	36.5	29.4	17.4	△35.2	8.2	35.8	29.3
非耐久消費財	△11.3	△8.4	25.1	△0.8	4.7	△16.3	△7.5	5.5
生産財	△2.3	13.4	3.6	7.6	3.1	8.9	△0.1	△1.5
鉱工業用生産財	△3.4	13.2	3.2	8.7	4.2	9.7	0.5	△2.1
その他用生産財	15.0	16.1	9.5	△6.1	△5.2	△6.4	△7.9	8.6